

---

# ちんちくりん

雪芳

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ちんちくりん

### 【Nコード】

N4003J

### 【作者名】

雪芳

### 【あらすじ】

彼女とのささやかな日常。

「問いいち、子どもと羊と紙束を舟にのせて川をわたります」  
受験生にとって、夏は重要な季節だ。

「子どもと羊を同時に舟にのせると沈みます」

夏を制すものは受験を制すという言葉はあまりにも有名だが、ごく一般的高校三年生である僕も、その言葉に従い、机に向かっている。

「対岸に子どもと紙束を同時に置くとイタズラされます。舟の上だとイタズラしません」

勤勉に問題集を開き、扇風機を二台機の周りに配置して勉学に励む。

「羊と紙束を同時に置くとたべられます。舟の上でも食べてしまします、ひでーはなしだ」

暑くて堪らないが、大学に入るためだ。大学に入って、医者になつて、それから、それから……。

「さて、いちばん少ない手数で舟をうごかして下さい。よし、いいだろう、わが力を知るがよい」

虚数はかけて実数になるが単体だと虚数であり現実の数字ではなく、つまり、ああ、汗で問題集が……。

「うーん、うーん、ああだめだ、羊が食べちゃう。こっちもだめ、子どもを食べちゃう」

愛は、じゃなかった。は二乗して一つになり、子どもが生まれ、家庭の責任を感じ、やがて夫婦中は冷え、それからそれから……、ん？

「あれ、羊は子どもを食べちゃう？ 羊が子どもを？ 子どもが羊、ひつじこども……こもどひつじ……こもどらこんつー！」「うるさいっ！」

堪りかねて、俺は声をあらげた。

蝉が遠くで鳴いている。

強烈な太陽光が容赦なく入り込む部屋、中央にある小さなテーブル。

そこでドリルを広げながら、「いらいらしちゃ、やーよー」と、ポニーテールをふわふわさせながら幼女が失笑した。

「誰のせいで苛々してると思うんだよ」

「……地球温暖化によるヒートあいらんど現象？」

首を傾げる幼女こと、姪。

「違う、お前のせいだっ。地球のせいにするなっ」

「何をいう。勉強しろとカヨワイれでいーにドリルを押し付けておきながら」

「お前が勉強してみたいって駄々をこねるからだろっ」

「はー？」

姪こと生意気な六歳児は、ふてぶてしく聞き返すと、

「言ってないよ」

「言った。確実に言った。そして駄々をこねた」

「いつのはなし」

「ついさっき言った」

「ついさっきって、何時？ 何時何分何秒、地球が何回まわったときですかー？」

懐かしい無理難題。しかし予測の範囲内だ。

「三時、三十二分四十秒頃」

「地球が何回まわったときですか？」

「そんなのどうでもいいだろ」 さすがにそこまでは答えられないものだ。

六歳児こと瀬川陽菜子はフヒヒヒヒと悦に浸ると、

「イクナイ！ 地球は大事だよ、にーちゃんみたいなごうまんな人間がいるから、地球は泣いているよ！」

名探偵よろしく人を指でさすもんじゃない。

「はいはい」

もう面倒になって、僕は背を見せつけ机に座り直した。子守りなご真剣にするもんじゃない。

「あーあ、ちゃんとやったらアイス食わしてやろうと思ったのになあ」

途端に、だだだだだだと背後から足音。

「ほんとほんとー！？」

ぷにぷにの頬を赤らめ、興奮しきった様子で瀬川陽菜子こと幼女は腕を掴んできた。鼻息がかかる。やれやれ。

「俺が嘘ついたこと、あるか？」

ぱああ、と幼女で六歳児で生意気な瀬川陽菜子は、興奮を昇華させたように目を細めた。

天を仰ぐ。

「いま、地球がちょっと微笑んだよ……」

「はいはい」

いそいそと戻っていく。

さあて、どうしたものか。相手は小学生のドリル、こちらは高校生

のドリル。どちらが早く終わるかなんて目に見えている。

僕は眉を下げつつ、シャープペンを握り直した。

(後書き)

2008年執筆

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4003j/>

---

ちんちくりん

2010年12月30日18時34分発行